

江部乙と滝川の歩み

1889 年
滝川に屯田兵 92 戸入植

1890 年
「滝川村」設置
滝川に屯田兵 348 戸入植

1894 年
江部乙に屯田兵 400 戸入植
滝川北尋常高等小学校開校
(北辰尋常高等小学校、江部乙北
辰国民学校、北辰小学校と改
称を経て、他小学校と統合し
現在の江部乙小学校へ)

1898 年
空知太・旭川間鉄道開通

1906 年
滝川村第一回村議会
(江部乙と滝川、各地区より
同数の 6 人選出)

1909 年
「江部乙村」設置
(滝川村より分村)

1910 年
町制施行「滝川町」へ

1947 年
北辰中学校開校
(現・江部乙中学校)

1952 年
町制施行「江部乙町」へ

1958 年
市制施行「滝川市」へ

1971 年
対等合併により新・滝川市誕生

2021 年
滝川市・江部乙町合併 50 年

江部乙という地域が持つ力とは
何でしょうか？
加 何事も他人事にはしない。



住民参加の運動会 (1977 年)

地の中心にあつてとても便利
だったんですね。近くには公
園がたくさんありましたし、夏
はプール、冬はスケートリンク
で遊んでましたね。
加 神社のお祭りは露店がず
らっと並んでそれはにぎやかで
したね。あと中学校跡地のグラ
ウンドで農民運動会といったイ
ベントもやってましたね。
山 顔の見える関係が生きていると
いうのは感じます。どこの誰か
素性がわかる。
山 単位が小さいからというこ
とはあるかもしれませんが、何か
をするとなると団結しますよね。
加 KAYAGINIまつりと
かはその最たるものですね。爆
発的な集中力を発揮して楽しん
でいる。どこからともなく集
まってきますよね。
川 たまに行つても必ず顔見知
りに会えたり声をかけられたり
するっていう(笑)このイベン
トに合わせて帰ってくる方もい
るみたいですね。
山 あんなに長時間やっている
イベントなのにクレームがとて
も少ないんですね。客と商売
の間柄じゃなく、みんなで創っ
て楽しむお祭りという認識だか
らではないでしょうか？

その力はコミュニティの結束の
強さから来るのでしょうか？
山 それもありますが、新しく
入ってきた方を柔軟に受け入れ
る姿勢というのもあるのかもし
れません。最近の江部乙で活躍
したり盛り上げてくれたりする
方って、移住されてきた方とか、
学生さんが多いんですね。
加 まちづくりに必要と言われ
る「よそ者 ばか者 若者」が
そろっていますよね。外から来
た人が急に新しいことを始めた
いとなったときも、昔からの住



KAYAGINIまつり
(2019 年)

民も一緒になって「やろうやろ
う！」となる。
山 一度顔の見える関係になる
ともう仲間ですからね。頼まれ
たら嫌とは言えませんが(笑)
50 年先の江部乙について
加 若い方がどんどんチャレン
ジして新たなものを創り出して
いるのは感じますね。周りもそ
れを応援している。
山 人口や子どもが減っている
というのによく言われますが、
農業者で見ると若い方が戻って
きたり、新規で参入したりとい
うことは多いですね。教育につ
いても、現在は遠隔授業の可能
性も広がっているの、田舎で
も豊かな教育を受けることがで
きるのではないかと思います。
川 人数が少ないからこそでき
るということがありますよね。

自然がいっぱい、顔が見える
分「見守り」が機能していて、
仕組みさえあれば子どもが育つ
のには最高の環境なのかもしれ
ません。
加 今後、魅力をどう売り込ん
でいくかで 50 年先が変わってい
くと思います。どのような人
に住んでもらいたいのか、そのた
めには何をすればいいのか。
山 住むのに魅力的な地域では
あると思うんですね。田舎で
はあるけど辺鄙ではない。交通
の便もいいしコンビニもあつ
て、ネットワーク環境も整って
いる。今後、昔から受け継いで
きた良い部分を残しつつ、未来
に向けてさらに「行ってみよう」
「住んでみたい」と思ってもら
えるような場所にしていくけれ
う、地域の力を合わせて頑張っ
ていければと思っています。

滝川市と合併し「新・滝
川市」となつてから 50 年を
迎えた江部乙町。
今月は、自立心と挑戦心
あふれる住民と、豊かな自
然が生んだ「思わず自慢し
たくなる」江部乙が持つ魅
力についてご紹介します。

ふるさと再発見！

特集

滝川市・江部乙町合併 50 年

えべおつ ディスカバリー

江部乙神社の狛犬

江部乙の「魅力」とはなんでしょ
うか？
加 夏の夕暮れ、畦から見る田
んぼに映る夕焼け、サイレンの
音といった田園ならではの情景
は「やっぱり江部乙は良いなあ」
と感じます。
川 市外から来た人にはやつぱ
り菜の花畑を案内しますよね。
昔住んでいた地域でも改めて見
るとたくさん発見があります。
あとは昔なじみの農家の方から
新鮮なお野菜を直接買ってい
るときは「江部乙につながりを
持つてよかった」と思います。

【座談会】

50 年の今改めて見つめる
江部乙が持つ魅力と
50 年先の未来に向けて



新たなまちの誕生と同時に生ま
れ、ともに江部乙で育ってきた 3
名の方に、江部乙の魅力と地域の
未来についてお話を伺いました。

※対談時はマスク着用のうえパーテーションを使用し、感染防止に配慮しています。

山 地域の良さについていうのは外
から来た人や帰って来た人こそ
見つけられるのかもかもしれませ
ん。ずっと住んでいるとなかなか
気づけないことも「ああ、こ
こが魅力的に見えるんだなあ」
と改めて教えてもらえているよ
うに感じますね。
子ども時代の江部乙について教
えてください
山 川で遊んだり、山を探検し
たり…自然の中が遊び場でした。
川 商店街もお店がたくさんあ
りました。私の家は江部乙市街



川辺 浩恵さん
(文中「川」)

幼稚園の頃に家族で江部乙市街地に引ッ
越し、その後 20 代まで江部乙に居住。結
婚後は 2 人の娘を育て上げ、現在の楽し
みは孫に会うこと。



加地 幸治さん
(文中「加」)

滝川市建設部次長。実家は江部乙で農業
を経営。江部乙出身者としての視点を生
かしながら、行政の立場からまちづくりに
携わっている。



山木 傑さん
(文中「山」)

やまき☆ファーム代表。北海道指導農業
士として地域農業をけん引するかたわら、
社会教育委員、農村環境改善センター運
営委員会会長など多くの役職を務める。